

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/老年看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
老年看護学概論		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
佐野 宏一郎 他	414	k.sano	金曜日 14:40~16:10		
授業の目的・概要	この講義は老年看護学を学ぶに当たっての考え方の基本としての老年期にある人の特徴、心理面の変化、成長発達課題、生活と環境の側面などを理解する。また老年期にある人に関連する保健医療福祉の連携・協働や家族に対する支援の方法について考察する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	老年期にある人の特徴を理解し、施設・病院での看護実践、家族援助の方法、社会資源の活用、老年期にある人をめぐる社会制度などについての理解を深められるよう、事前に教科書を熟読しておくこと。				
教科書	ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害(第7版)/編:堀内ふき 他/メディカ出版/2023 ※この教科書は2年次「老年看護援助論Ⅰ」・3年次「老年看護援助論Ⅱ」においても使用。				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	老年期にある人の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる	NS (1)(2)(3)(4)			
②	老年期にある人の心身の成長発達とその課題を説明できる	NS (1)(2)(3)(4)			
③	高齢社会における人口、受療に関する統計の特徴、保健医療福祉について説明できる	NS (1)(2)(3)(4)			
④	高齢者のヘルスポモーションについて説明できる	NS (1)(2)(3)(4)			
⑤	高齢者の権利擁護について説明できる	NS (1)(2)(3)(4)			
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	高齢者の理解(1):老年期の定義、人口動態等について学ぶ。	講義	加齢、老化、高齢者の統計を学んで得た知識をまとめる。	2	
2	高齢者の理解(2):加齢による心身の変化について学ぶ。	講義	加齢に伴う変化について要点をまとめる。	4	
3	高齢者の理解(3):高齢者の心理的、社会的特徴について学ぶ	講義	高齢者の心理、老いへの適応、認知機能の変化などをまとめる。	4	
4	高齢者をとりまく保健医療福祉制度を学ぶ。	講義	介護保険制度について理解したことをまとめる。	4	
5	高齢者看護の基本:老年看護学の諸理論、基本的な高齢者看護の考え方について学ぶ。	講義	高齢者に対してどのような態度で看護を行う必要があるか考える。	4	
6	高齢者のヘルスポモーション:高齢者の健康を支援する施策や方法について学ぶ	講義 GW	高齢者の健康増進を支える制度、について調べる。	4	
7	高齢者看護の基本:老年看護の倫理、高齢者の権利擁護について学ぶ。	講義	高齢者虐待、身体拘束等について理解した事をまとめる。	4	
8	高齢者のヘルスポモーション:レポートに関する意見交換を通し、学びを共有する。	講義 GW	授業を通して得た学びをまとめる。	4	
試	定期試験				

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/老年看護学】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	10	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	0	5
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験の範囲は講義全体を対象として出題し、70点満点とする。知識・技術力を中心に評価する。				試験後に試験問題と解答についてコメントを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①		レポート内容の適切性、課題について思考・推論する力、文章表現の適切性、自ら調べるなど問題を発見、解決する力を重視して評価する。				レポート提出後、全体にコメントを返す。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備考							
他担当教員	山崎さやか						
教員の実務経歴	佐野は病院の看護師15年の実務経歴、山崎は病院の看護師9年の実務経歴。						
実践的授業の内容	高齢者に関わる看護師の基本的な考え方について学んだ事が、看護実践の場でどのように生かされるか具体的に説明する。						
その他	この講義は、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。本科目の単位取得は、老年看護援助論Ⅱ、老年看護実習Ⅰの履修前提条件である。毎回の講義内容を、配布資料と共に復習すること。また該当する教科書の範囲を予習し、基本的な内容を理解した上で講義に望むこと。授業中の携帯電話、スマートフォン等の使用は、指示があった場合を除き禁止する。						